



二松學舎創立140周年記念

論語の学校

~RONGO ACADEMIA~

平成29年 **10月28日(土)**

13:00~17:00 (開場予定12:30)

二松學舎大学 九段1号館B2F 中洲記念講堂

入場無料

事前申込み要 10月27日まで受付。 ※ただし、定員になり次第締め切り。当日は全席自由席。

渋沢栄一の『論語と算盤』で 未来を拓く



渋澤 健氏

シブサワ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役
コモンズ投信株式会社 取締役

近世の中国と日本、 さまざまに読み解かれる 『論語』

本学文学部中国文学科

市來津由彦 特別招聘教授

《関連企画》 ● 論語入門：牧角悦子 本学文学部教授

● 素読実践：石川忠久 本学名誉教授

【お問い合わせ】 E-mail: rongogak@nishogakusha-u.ac.jp
TEL: 03-3261-1298 FAX: 03-3261-1291 (平日9:30~16:30)
【お申込み方法】 本学ホームページをご覧のうえ、E-mail、FAXでお申込みください。
<http://www.nishogakusha-u.ac.jp/>



二松學舎大学

主催：学校法人 二松學舎 〒102-8336 東京都千代田区三番町6-16
後援：文部科学省・東京都教育委員会・千葉県教育委員会・埼玉県教育委員会
千代田区・公益財団法人 斯文会・漢字文化振興協会・全国漢文教育学会
日本経済新聞社 人材教育事業局・二松學舎松苓会
協賛：二松學舎サービス株式会社

○地下鉄 東西線・半蔵門線・新宿線「九段下」駅下車、2番出口より徒歩8分
○JR「市ヶ谷」「飯田橋」駅下車、徒歩15分



※会場には駐車場がありません。お車でのご来場はご遠慮ください。

講演者紹介

シブサワ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役
 コモンズ投信株式会社 取締役

13:20からの予定

渋澤 健 (シブサワ ケン)

渋澤栄一の『論語と算盤』で未来を拓く

講演内容

21世紀のグローバル化と資本主義は1%の人々が99%の富を保有する格差社会を生んだ原因であると批判を寄せている。トランプ現象のような一国主義が時代の潮流にもなりつつある。資本主義は終焉すべきという論調が絶えない。

一方、「日本の資本主義の父」と言われる渋澤栄一が提唱した「論語と算盤」とは現在の時代の文脈に書き換えると、サステナビリティ(持続性)とインクルージョン(包括性)であった。栄一が考えた資本主義の原点に合本主義という思想があった。現代風に置き換えれば、「共感」で寄り集まり、「共助」で互いが不足しているところを補い、今日よりも、よい明日に向けて「共創」することだ。栄一のライフワークは民間力の向上による国づくりであった。資本主義とは格差を産む問題ではなく、ステークホルダーという民間力を通じて未来を拓く人間の

智恵なのだ。

過去を振り返ることは、その時代に戻ることを考察しているのではなく、原点を再確認するための。歴史を通じて学ぶべきことは、どの時代でも通じる人間の普遍性、そして、どの時代でも存在していた新しい社会を拓くという未来志向だ。

プロフィール

1961年生まれ。1969年父の転勤で渡米。1983年テキサス大学BS Chemical Engineering卒業。1984年(財)日本国際交流センター入社。1987年UCLA大学MBA経営大学院卒業。1987年にファースト・ボストン証券会社(NY)入社後、JPモルガン銀行(東京)、JPモルガン証券会社(東京)、ゴールドマン・サックス証券会社(東京)、ムーア・キャピタル・マネジメントを経て、2001年シブサワ・アンド・カンパニー株式会社を創業し代表取締役に就任。2007年にはコモンズ株式会社を設立し、代表取締役に就任(2008年コモンズ投信へ改名し、会長に就任)。政府関係の各種委員会に携わるほか、学校法人などのアドバイザーにも従事している。主な著書に、「運用のプロが教える草食系投資」(日本経済新聞出版社・2010年)、「渋澤栄一 100の訓言」(日経ビジネス人文庫・2010年)、「30歳からはじめる お金の育て方入門」(同文館出版・2013年)、「渋澤栄一 愛と勇気と資本主義」(日経ビジネス人文庫・2014年)、「渋澤栄一 100の金言」(日経ビジネス人文庫・2015年)がある。

本学文学部中国文学科特別招聘教授

14:45からの予定

市來津由彦 (イチキ ツユヒコ)

近世の中国と日本、さまざまに読み解かれる『論語』

講演内容

東アジアの歴史の中で、『論語』は多様に読み解かれてきた。『論語』という書物そのものにそうした多様性を許すくみがある。この書には唯一という意味での「正しい」解釈はない。そうした解読の一つとして、朱子学の開祖、朱熹(1130-1200)『論語集注』がある。この注釈書は、南宋末から元・

明・清の中国、朝鮮朝、日本江戸儒学に多大の影響を及ぼした。本講演では、その解釈のユニークなもの何章かをとりあげ、その解釈がそうなる解読の視点についてふれ、併せて江戸古学派の解釈とも比較したい。

プロフィール

1951年生まれ。東北大学文学部哲学科中国哲学専攻卒業、同大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。東北大学大学院国際文化研究科助教授、広島大学大学院文学研究科教授等を経て、2017年より二松学舎大学文学部特別招聘教授。博士(文学)。専門は中国近世思想史。『論語』に関する論説として「中国思想古典の文化象徴性と明治・大正・昭和『論語』を素材に」、主な著書・共編著として「朱熹門人集団形成の研究」(創文社・2002年)、「江戸儒学の中唐注釈」(共編著。汲古書院・2012年)、「訓読」論—東アジア漢文世界と日本語—(共編著。勉誠出版・2008年)などがある。

申し込み方法

次のいずれかの方法でお申し込みください。

- ①FAX= 下記「申し込みFAX送信票」に必要事項を記入の上、ご送信ください。
- ②電子メール= メール本文に氏名、ふりがな、連絡先の住所、郵便番号、電話番号、性別をご記入の上、右記メールアドレスにご送信ください。 **申込先メールアドレス:rongogak@nishogakusha-u.ac.jp**
 ご注意:お申し込み受付後、特に「受講票」等は送付致しません。直接ご来場ください。
 本学とお取引などがある場合は、会社名もお知らせください。

二松学舎大学(『論語』の学校)行

FAX 03(3261)1291

FAX送信の際には、番号をお間違えないようお願いいたします。

『論語』の学校 —RONGO ACADEMIA— (平成29年10月28日開催)

申し込みFAX送信票

	申し込み日 平成29年 月 日()		
ふりがな		性別	企業名・団体名 ※個人でお申し込みの方はご記入の必要はありません。
氏名		男・女	
住所	自宅 勤務先 <small>※いずれかに○印をお付けください。</small>	〒	—
電話番号	()	メールアドレス	@

※記載いただいた個人情報に関しましては、「個人情報保護法」に則り、適正に管理します。
 お申し込みありがとうございました。